

ウリー・ディーマー (Ulli Diemer)

ウリー・ディーマーは、社会主義に関する出版、執筆、記録保管を行っているカナダ人である。

ディーマーは、社会正義を目指して活動する人々が文書・戦略・経験・考えを共有できるよう設立されたカナダの団体、Connexions のコーディネーターを務めている。Connexions は、大量の社会主義資料を所持するオンライン・ライブラリーの維持管理を行うとともに、活動家の出版物を紙媒体で保管する Connexions アーカイブの本拠にもなっている。

ドイツのカッセルで生まれたディーマーは、幼少の頃にカナダへ移住し、オンタリオ及びニューファンドランドの学校に通った。

高校や大学で学生政治活動に積極的だったディーマーは、その後全国学生出版組合であるカナダ大学新聞 (Canadian University Press) の現場記者として、また社会主義の書籍・パンフレットを出版するニューホグタウン出版 (New Hometown Press) の編集チームのメンバーとして働くようになった。

1970 年代、ディーマーは仲間とともにトロントマルクス主義協会 (Marxist Institute of Toronto) を創設した。これは、マルクス主義の理論や議論に関する独立したセンターとして設立されたもので、根本的問題に関する議論や講習の場を提供した。ディーマーは、レーニン主義がマルクス主義の目指す解放と本質的に対立するものであることを指摘し、協会が非レーニン主義的観点であるリバタリアン・マルクス主義をより明確に採用するべきだと提唱する。論争を重ねた結果、組織は分裂し、レーニン主義や毛沢東思想のイデオロギーを目指すメンバーは脱退することとなった。方向性の変化を踏まえ、協会はトロントリバタリアンスクール (Toronto Libertarian School) と名称を変更し、赤の脅威 (Red Menace) というリバタリアン社会主義誌を出版するようになった。

ディーマーは、トロント東中部の非営利コミュニティ新聞、セブン・ニュース (Seven News) の編集者を長年務めた。セブン・ニュースは、“都市再生”やスラムの地主、劣悪な学校、環境破壊の要因、不十分なヘルス・ケア、労働階級及び貧困者に対する長年の制度的差別と闘う地域の活動家が設立したものである。主流の民間メディアに代わるものを生み出そうとするコミュニティ組合が所有・管理していたことから、セブン・ニュースは地域のニュースや出来事を伝える一方、デベロッパや政治家と闘う住民の声を代弁するものでもあった。ディーマーはセブン・ニュースを辞職した後、Connexions のコーディネーターとなった。

ディーマーは、Radical Digressions という名前の個人のウェブサイトやブログ (www.diemer.ca) も管理している。

政治哲学

引用：「私はリバタリアン社会主義者である。私の目標は、資本主義が終焉し、『個人の自由な発展が社会全体の自由な発展の条件であること』を目指す社会主義が資本主義に取って代わることだ。本来、社会主義とは自由の範囲を最大限拡大することである。そのためには、地球を徐々に脅かしながら人々の生活や可能性を破壊している資本主義の世界を終焉させることが必要なのだ。資本主義の悪の権化は資本であり、そのため資本主義を終焉させるには資本を撲滅しなければならない。社会の変革は、どれほど価値があり追い求めるべきものであっても、それ自体で資本主義を打ち負かすことは出来ない。資本の支配やそれが支配している国家の成立ちを覆すような改革が必要なのである。改革には様々な形が有り得るが、社会主義改革とは資本の政治・法基盤をという束縛を剥ぎ取る以外の何物でもない。資本主義の矛盾は私たちを破滅の道へと突き落とすものである。資本主義が自分たちを破壊しつくす前に、私たちは資本主義を終焉させなければならないのである。」